

(■一日目)

(§)

(◇歩く音 フェードインして少し流し、ヒロインの台詞で停止)

あのー、もしもし…

わわっ、そんなにびっくりしないでくださいよお…

まあ私の身体って透けてるし…あとちょっぴり浮いちゃってるから…仕方ないよね…

えへへ、どうも幽霊です

わあー、待って待って、見なかったふりしないでくださいよおー

私のこと、見えてますよね？ …その反応、声も聞こえているみたいですし…

あ、今…目を逸らしましたね

…やっぱりあなた、私のこと見えてるんじゃないですかあ…っ

…これ、とっても珍しいことなんですよ

っていうか、これが初めてだったりするんですよね…

あなただけは、なんかこう、びびるときちゃって…

もしかしたらって、話しかけてみたんですけど…

あなたって…私のこと、何か知りませんか？

…いえ、その、実はこうして幽霊になっちゃう前の記憶が…

つまり、生きていた時のこと、何も思い出せないんですよね…

なので、成仏できなくて彷徨ってる理由とかも、全然分からなくて…

私のこと見える人なら、何か知ってるんじゃないかと思って、声…掛けてみたんですけど…

…んー、そうですか

なら、たまたま霊感が強かったとか、そういうことなんですかね…

…あの、本当に何も、心当たりとかありませんか？

離れ離れになった可愛い妹とか。小学校の頃に結婚する約束をして、でも家の都合で転校し

ちゃった後輩ちゃんとか…

……んー、一つも当てはまりませんか。困りましたねえ…
いえ、あなたが困らなくても、私は今、とってもピンチなんですよ
せつかく、見える人に会えたのに……
あ、良いことを思いました

…しばらく、あなたについて行っても良いですか？
そうすれば何かわかるかも！

……ええ、良いじゃないですかあゝ
ついて行くっていつでも、別にとりついたりはしませんよ？
あと、食費もかかりませんし、プライバシーだってしっかり守ります！
ね？ 良いでしょ？ 人助けをすることで…あ、死んじゃってるから幽霊助けになるの
かな…

……え、本当ですか？ やっぱ今の無しって言っても、もう遅いですよ
…よし、そうと決まれば、さっそく帰りましょう

……どこって、あなたのお家以外に行くところあるんですか？
ほら、こっちですよ？

……あれ、なんで私、家の方向分かるんでしょうか…
やっぱ、昔一緒に住んでいた妹だった…。はい、しませんよね

(◇外を歩く音 ループ)

あ、そーだ

…あっいえ、さっきの話じゃないんですけど…そう言えば、あなたのこと、なんて呼べばいいですか？

ずっと「あなた」って呼ぶのも、変だと思っんですよね…

んー…名前で呼ぶのは、なんか違うような気が…

あ、ちょっと待ってください。今、びびっときました
あなたのこと、「ご主人様」って呼びます！

私は今から、ご主人様にお仕える幽霊なのです！

…あはは、まあ浮いてるだけで何もできませんけどねえ
まあまあ、細かいことはどうでも良いじゃないですか…

そうですね、ご主人様は、私のこと、れいちゃんって呼んでください
……いえ、名前を思い出したりはしていないんですけど……幽霊だから、霊ちゃんが良いかな
あと

他には「幽ちゃん」っていうのもアリですけど、ほら……女の子っぽくないじゃないですか
なので、これから私のことは、れいちゃんって呼んでくださいね

（◇外を歩く音 数秒ほど流して停止）

……あ、話してたらもう着きましたね

……はい、やっぱりどこか見覚えがあるような……ないような……

ご主人様って、私くらいのメイドを雇っていたことは……ないですよ
普通のお家ですし、というか私くらいの女の子を働かせていたら犯罪ですからね

まあ、とにかく入りましょう

（◇扉の開閉音）

お邪魔しまゝす

おお、けっこう広いお家ですね

あれ？ でもなんか、天井低くないですか？

ちよつとこう、天井が近く感じるような……

あ、私が浮いてるせいですね。えへへー

ああ、ちよつとお、置いてかないでくださいよ……

……ん？ くんくん……

何でしょう、とっても良い匂いしますね……♪

……ああ、そっか！ もう夜ご飯の時間ですもんね……

ご主人様は、すぐご飯食べます？

なるほど……お風呂の後ですね

じゃあ、その間に、色々と見て回ってても良いですか？

ああ、その心配なら大丈夫ですよ

扉に触ったりはできませんけど、すり抜けることができるので
そもそも開ける必要ないんですよー。こう見えて幽霊なので。えへへ
というわけで、ちょっと見てきますね

…はい、ご主人様も、ゆっくりお風呂に入ってくださいね
きつと、疲れてると思うので
では、また後で

(◇主人公の遠ざかる足音)

(§)

あ、ご主人様、もうご飯食べ終わったんですか？

…はい、私の方は、ずっとお家の中を見てましたよ
それにしても、けっこう広いんですね。疲れちゃいましたよー

え、そうですか？

私からすると、そこそこ広く感じましたけど…

あと、扉をすり抜ける度に、わりとエネルギー使っちゃうみたいで…

三部屋くらい回る頃には、もうへとへとでしたよー

…ああ、見覚えはですね…一部屋だけありました
えつと、こっちです

(◇主人公が家の中を歩く足音)

(◇扉を開ける音)

あ、こっつてご主人様の部屋なんですか？

……はい、この部屋だけは、行ったことある気がします
物には触れないので、うろうろしてただけですけど…

特に、このベッドとか見覚えあるんですよ…

もしかしてご主人様、この部屋に女の子を連れ込んだり…
まさか私、ご主人様に…っ

ああ、怒らないでください、冗談ですよ

…ただ、このベッドに見覚えがあるのは、間違いないんですよ

まあ、明日も色々と見て回れば、何か分かるかもしれません

…え？ もちろん明日もここにいますよ

ご主人様の近くにいれば、何か思い出しそうなので…

…もしかして、ダメ…ですか？

やった！ ありがとうございますっ、ご主人様♪

…じゃあ、明日も一緒ですね。えへへ

（■二日目）

（§）

（◇毛布の擦れる音）

あ、ご主人様。ふふ、おはようございます♪
朝早いんですね、お出かけですか？

…へえ、いつもこの時間に起きてるんですね
ということは、今…暇だったりします？

……でしたら、ご主人様の案内で、お家の中もう一度見てみたいなあって…
まあ、昨日少し回りましたけどお…

私だけだと文字が読めなかったり、分からないことも多いですし…
いちいちすり抜けなくても良いので、とっても助かるんですね…
だからご主人様、ちよつとだけ、私に付き合ってくださいませんか？
…ね？ 良いでしょー？

…ふふ、ありがとうございます、ご主人様
やっぱり優しいですね。そういうところ、大好きです♪

……さて。それじゃあ、早速行きましょう

（◇毛布をどける音）

（◇扉の開閉音）

…まずは、そうですね…

うーん、まだ良く分からないので、一つずつ見て行ってもいいですか？

はい、ではこのおっきい部屋から…あ、リビングって言うんですね

…なるほど、ここでご飯を食べたり……あれ
なんかちよつと、ヘンですね…

家具の場所っていうか…。あのソファーとか、もっと奥に寄せても良いような…
んー、気のせいですかね…？

……あ、お母様がいますよ！

お母様、おはようございまーす

……えへへ、そんなに慌てなくても大丈夫ですよ

昨日、こっそり耳元で話しかけてみたんですけど……全く反応がなかったのでその辺は、抜かりないのですっ

……あー、ただお母様がいると、ご主人様話しづらいですよね？
なら、他の部屋に行ってみましょう

こっちのちょっと狭いところは……あ、お風呂ですね？

うう……なんか私、ここ苦手ですう……

もしかして、お風呂でおぼれて死んじゃったとか……

さすがに、ないですかね……？

うーん、でもここ、ほんとに苦手です……

早く別のところに行きましょ

さっきの、ご主人様の部屋とか。今度は、じっくり見てみたいんです

……え？ 別に散らかしたりしませんよー。そもそもできないですし……

……ああ、ポルターガイスト……でしたっけ

あれって、どうやってるんですかね？

……あはは、ご主人様に訊いても分かるわけですね。私ですら分からないのに……

うーん、謎は深まるばかりですね……

……ふえ？

幽霊が幽霊のこと考えるのって……面白いですか？

……だって、幽霊になっても分からないことだらけですし……

あ、でも一つだけ気づいたんですけど……

意外と幽霊って、全部が怖いつていうわけでもないんですね

……ほら、たぶん幽霊って、まだやりたいことがあるから、ここに残っちゃってるんですよ？

もしそれが、誰かに何かを伝えたいとか、

最後にあれやっておきたーいとかだとしたら、

全然怖くないですし。なんか応援したくありませんか？

まあ、私は幽霊なので、応援される立場なんですけどね、えへへ♪

だから、呪ってやる……っていう幽霊だけじゃなくて、

かわいい幽霊とかもいるんじゃないかって考えたら、ちょっと楽しくないですか？

この私みたいに♪ えへへー

ちよっと、話すぎちゃいましたね

それじゃ、ご主人様の部屋に行きましようか

(◇数秒ほど間を空け、扉の開閉音)

さて、じっくり見ちゃいますよー

まずはご主人様が寝ている、このベッドです

…んー、絶対見覚えあるんですよー…

どこでって…それが分かったら苦労しませんよお…

このベッド、ご主人様以外の誰かが使うことってありましたか？

あ、やましい意味ではなくてですよ

…なるほど、ご主人様以外は使ってない…と
んー、他には何か…

あれ…この写真は…

あ、ご主人様が写っていますねっ

ご家族の写真ですか？

わぁー、皆さんいい顔してますね♪ お父様とか決めポーズしてますし…

…あ、この子、とっても可愛い…。何歳ですか？

へえ…まだ一歳なんですねぇ。ふふ

あーあ、私もご主人様と、一緒に写真撮りたいなあ…

……だって、今撮っても心霊写真になっちゃうじゃないですかあ
そもそも写り込むか分かりませんし…

ちよ、笑わないでくださいよお。幽霊ジョークするために写真見たんじゃないですってー
むう……そんなに笑ってないで、ご主人様も探してくださいよお

…私だって、何を探せば良いか分かりませんけど…

…え？ 無関係なわけではないじゃないですかあ

私とご主人様は、絶対、何か繋がってる気がしますっ

……根拠とかは、その…

ご主人様が、私のこと見えてるからですっ

あと、この部屋にも見覚えありますし…

今のところは、それくらいしかありませんけど…

とーにーかーくっ、私は今、ご主人様しか頼れる人がいないんですよ…

だから、もう少しだけ、ご主人様と一緒にいさせてください。

お願いしますよお…

…あ、えへへ

やっぱり、ご主人様は優しいですねえ

ありがとうございます♪

(■三日目]

(§)

(◇毛布の擦れる音)

あ、ご主人様。ふふ、おはようございませう♪
あれ、びっくりしちゃいました？

…まあ、天井近くでふわふわ浮いてたら、さすがに驚いちゃいますよねえ
ふふ。ご主人様のお顔、真っ青になって…わっ、大丈夫ですかっ
す、すぐにお母様を…！ あ…う、そう言えば、私じゃ無理でしたね…
何か、他に方法は…

え？ そんなこと言ったって、落ちていてなんかいませんよ！
…うう、もしかして、私が驚かしたせいで…
あ、ただの風邪なんですか？

なら、良いんですけど…。今日はしっかり休んでくださいね
安静にしてなかったら、どんどん悪くなっちゃうかもしれないし…
最悪、私みたいに死んじゃうかも…

…まあ、それはないにしても、無理はいけませんよ
ご主人様が元気でいてくれないと、私も悲しくなっちゃうので…
…そうだ、何かしてほしいこととか、ありませんか？
と言つても、私ができること、少ないですけど…

…んー、例えばって言われても…あ、ふふ

あの…ご主人様あ、私と添い寝とか…どうですか？

…まー、すり抜けちゃいますけど。こういうのは雰囲気ですって
ね？ こゝんな美少女が、添い寝してあげるって言ってるんですよ？
…や、鏡に映らないので、分からないんですけど…私って可愛いですよ
ちよつと、答えてくださいよお…むう

私…可愛くないんですか？ 可愛くないから、ご主人様の側にいられると、迷惑…だったり

…もお、そういうことは早く言ってくださいよお
…いえ、そんな投げやりな感じじゃなくて…もつと心を込めて…
…ああ、えへ…。もおつと「可愛い」って言ってくれても良いですよー？
……ん、ああ……何でしょう、この気持ち

ご主人様に「可愛い」って言われると、胸がポカポカしてきます…
…って、私ばかり気分良くなっても、意味ないですよ

ここからは、添い寝してしっかり看病しますので…
ふふ…近いですか？

逆に離れてたら、添い寝できませんよ

…ふふ、ご主人様♪ こっち、見てください♪

(◇毛布の擦れる音)

もし、すぐ目え逸らすんですからあ…
言っておきますけど、幽霊なのですいすい移動できちゃうんですよ？
だから、ご主人様が顔を背けようとしても

ほら、すぐこっちにきちゃいますからね

…えへへ。けっこう照れ屋さんなんですわねえ。頼った、赤くなってますよ？

…なーんて、まだ青いままですけど。ふふ、からかっちゃって、ごめんなさい

…その、こんな何気ないことでも、ご主人様と話すの、楽しくて…
つつい、喋りすぎちゃいますね…

…ねえ、ご主人様

私、まだ生きていた頃の記憶、全然思い出せないんです

でも…何も思い出せなくても、ご主人様と一緒にいる今が、とっても落ち着くっていうか…
幸せ、なのかな…

…もしかしたら、生きていた時、ご主人様とふかあゝい関係…だったりして

…だって、まだ出会ったばかりで、こんなに仲良くなれてるんですよ…？

もちろん、何か理由があるわけじゃなくて…。直感、なんですけど

でも、これだけは間違いないって、そう思うんです…

えへへ…。二人とも憶えてないのに、変な話ですよ

……ただ、私もそうですけど、ご主人様だって…変なところ、あると思いますよ？

…だって、いきなり知らない幽霊が現れて、「家までついてくるー」って言ったのを、許しちゃうんですよ

…あの時、もしご主人様が私を連れて行ってくれなかったら、もうどうして良いか分からなくて…

ほんとに、困ってたと思います

…今のところ、私と会話できるのって、ご主人様しかいませんし…

あの時、あの道を通ってくれなかったら…

きつと、今でも私…彷徨ってと思うんです

幽霊としては、そっちの方が普通なんですけどね…

…でも、なんでここにいるのか分からないまま、ただ彷徨うだけなんて…嫌なんです
ずつと、ずうつと独りぼっちで…

どうしてここにいるんだろうって…

私は誰なんだろうって…

何も分からないまま、不安しなくて…

そんな私を、ご主人様は、このお家に連れてきてくれました…

…つまり、その…

ご主人様も、私と同じようなものを、感じているんじゃないかって…

あとは……ありがとうしか、ないですね

こうやってご主人様と話せて…それだけでも、すごく、すつごおしく、嬉しいんです
……いえ、もちろん不安になる時も、ありますよ

けど、その気持ちは、ご主人様と出会う前の、何も分からない不安とは、違いますよ

今、ここにある幸せが…ご主人様と一緒にの毎日が、なくなっちゃうことへの不安なんです

…私、自分のこと…何も分からなくても。ご主人様と、ずうつと一緒にいたいんです

幽霊でも…こんな身体でも、一緒に…なんて。ダメ…ですよね

……いえ、ご主人様が良くて、神様は…許してくれないと思います

…幽霊は、ご主人様のそばに…こっち側にいちゃ、いけないですから…

……ふふ。幽霊なのに、私って…怖がりですよ

でも、今不安に思っていることが、ちょっぴり嬉しくもあるんです

…おかしいって、思いますか？

だってこの不安は、今がすつごく楽しいからこそ、感じるものだと思うので…

だから、私のこと、心配しなくて良いですからね

…ふふ。ご主人様、ありがとうございます

私、ご主人様と一緒にいれて、本当に幸せです

……もう、どうしちゃったんですか？

…私なら、まだいなくなったりしませんよ

こうして、ご主人様の側にいます…

……他にも、側にいるだけじゃなくて。何かできれば良いんですけど…

あれ、ほつとしたら、眠くなっちゃいましたか？

ふふ、あったかいなんて、変なこと言いますね

普通、ぞわぞわって、寒気がするとかなら分かりますけど…

でも、そう言ってもらえて、すつごく嬉しいです♪

…私にも、ご主人様にしてあげられること、あったんだあつて…
ふふ。じゃあ、ご主人様が眠るまで…それとも、起きるまで…？
んー、満足するまで、ずーっとここにいますね♪

なので、安心して寝ちゃって良いですよ…

…ふふ。お休みなさい…ご主人様♪

……ん、すう……すう……すう……すう…

すう……すう……すう……すう…

すう……すう……すう……すう…

……ご主人、様あ……すう……すう……すう…

すう……ん……すう……大好き…です……すう……すう……すう…

すう……すう……すう……すう……すう……すう…

(■四日目)

(§)

おっはようございま〜す♪

…って、今日は朝早いんですね？

がっこう…？　って、なんですか…？

…はあ、ご主人様は、がっこうで、べんきょうをしなくちゃいけないんですね…？
うーん、よく分かりませんが。私も、そのがっこうに行ってみて良いですか？

…大丈夫ですよ〜

私の姿は、ご主人様にしか見えていないんですから

…ね、良いでしょ？　ご主人様が出かけちゃったら、一人で退屈なんですよ
私、お留守番は嫌なんです。…したこと、ないと思いますけど

一人ぼっちなのは、寂しいから…

え、本当ですか？

…やったあ、さすがご主人様〜♪

じゃあ、早速行きましょう！

…ああ、ご主人様は着替える必要があるんですね
ふふ、私に見られるの、恥ずかしいんですね？

別に良いじゃないですかあ、着替えくらい

私なら、ご主人様に見られても良いですよ？

…もお、怒らないでくださいよお

冗談ってわけじゃなかったんですけど…まあ、恥ずかしいんだったら、仕方ないですよ
じゃあ、部屋の外で待ってますから。着替え終わったら、ちゃんと来てくださいよ？

(◇扉を開ける音)

…あ。扉…ありがとうございます

さっき怒ったのは、照れ隠しだったんですね。ふふ

(◇扉を閉める音)

(◇校内のチャイムの音)

(§)

わぁ…これが学校…っ。その中の、教室ってところですね
人が、たっくさんいます…!!

それに、男の子は、ご主人様と同じ格好をしてますけど、どうしてですか？

んー、決まりと言われても、いまいちピンときませんね…

皆、好きな恰好をすれば良いのに…

…それにしても、ご主人様が毎日行くとところなら、何か手掛かりがあるんじゃないかなあ
って思ってたんですけど…

見覚え、全然ないですね…

(◇教室の戸の開閉音)

あ、誰か大きい人が入って来ましたよ

あの人は、皆さんと同じ服じゃないんですね

……え、『せんせー』……ですか？

……なるほど。朝言ってた、勉強っていうのを教えてくれる人ですね
へえ…初めて見ました

(◇黒板にチョークで文字を書く音)

あれ、せんせーが、何かしてますね

(◇ノートに字を書く音)

…あ、ご主人様も、同じようなことを…
これが、勉強…なんですか？

んー、『もじ』、と言われましても…

(◇教科書を捲る音)

うわ、同じような黒いものが、びっしりと…

これが、『きょうかしょ』…？

うーん、良く分からないですね

ご主人様が、さっきから言ってる『かく』や『よむ』という言葉の意味も、頭に入って来なくて…

…もしかしたら、記憶と一緒に、ご主人様の言う『よみかき』っていうのも、忘れちゃってるのかもしれない…

(◇黒板にチョークで文字を書く音)

(◇ノートに字を書く音)

ふわぁ…。学校って、退屈ですね…

たぶんここ、生きていた頃にも、行ったことないような気がしますし…

(◇ノートに字を書く音)

…あつ、ご主人様

さっきから、せんせーだけじゃなくて、あの女の子のこともちらちら見えますけど…
もしかして、好きな人だったり、します？

(◇椅子から立ち上がる音)

って、ご主人様！？ 急に立ち上がったらしたら…

…ああ、遅かったみたいですわ…。周りからの視線が、痛い…

(◇椅子に座る音)

…いやあ、その。まさか、あんなに動揺するとは思わなくて…

というかご主人様、私という女の子がいながら、他の子にああいう目を向けるのはちょっと…

…モヤモヤ、しちゃいます

…あれ、本気にしちゃいましたか？

ふふ、意外と可愛いところありますよねえ、ご主人様って

…ほーら、手が止まってますよ？ ふふ

(◇ノートに字を書く音 数秒ほど流してフェードアウト)

(§)

(◇外を歩く主人公の足音 フェードインしてループ)

ふう…。学校って、あんなにずっといなきやいけないんですね…

ご主人様も、お疲れさまでした

あの…体育？ でしたっけ

それで、すごく頑張っていましたもんね

もちろん、ちゃんと見てましたよ

サッカーボールを、えいってキックしてましたよねー

頑張ってるご主人様の姿、とってもかっこ良かったですっ

…ふふ、ほんとですって

…いえ、教室でのアレは、ちょっとからかっただけで…

(◇足音 ここまで)

ところで…ご主人様は、好きな人…いないんですか？

ほら、斜め前に座ってた女の子、授業中にちらちら見てたから…そうなのかなあって

んー、ちょっと気になるだけ、なんですか？ なんか曖昧ですね…

…じゃあ、例えば…ですけど

私が、好きですって告白したら…。ご主人様は、付き合ってくださいますか…？

ふふっ、ご主人様あ、顔真っ赤ですよ♪

もしかして、本気にしちゃいました？

…だって私、幽霊なんですから。ご主人様と付き合うことなんて、できませんよ？

……ただ、そうですね

ご主人様と一緒にいると、毎日が楽しくて…。あったかい気持ちになります

それは、本当ですよ

だから、生きていた頃の私は、ご主人様のことが大好きで…
付き合いたって、思ってたのかもしれない…

…まあ、ご主人様はきっと人気あると思うので、どの道、私が付き合うのは難しいんじゃないかなあって…

……え、そう…ですか？

ご主人様なら、絶対モテモテのような…いえつ、今度はからかってませんよ

そういうご主人様こそ、この子からモテてるとか、モテたことがあったとか、心当たり…あるんじゃないですか

…えー、ほんとですか？

例えば、私…とか

……うう。憶えてないんですね…

…おかしいなあ。生きてた頃の私、何やってたんだろ…

陰から見ただけで、全然行動しなかったとか…？ …はあ

まあ、考えても仕方ないですよ…

ご主人様が憶えてないなら、私が思い出すしかないわけですし…

とにかく、帰りましょう。今日は疲れちゃいました

(◇主人公の歩く音 数秒ほど流してフェードアウト)

(◇玄関の扉の開閉音)

(◇主人公の廊下を進む足音)

ふう、やっぱり家の中は落ち着きますねー

(◇ソファに寝る音)

あ、ご主人様？ 寝るなら自分の部屋に行きましょうよー

ここ、リビングですよ。ソファで寝たら、きっと身体が痛くなっちゃうんじゃない…

…あれ、ご主人様？

…もしもーし

ありや…もう寝ちゃってる

まあ、あれだけ身体動かしてたら、疲れちゃいますよね…

……んー、何しようかなー。一人で探索するとけっこう疲れちゃうし…
このまま、ご主人様の寝顔を見てるっていうのも、アリかな。ふふ

…それか、このリビングを探したり…。でも、ここって何もないんだよなあ
他に気になることって言ったたら……ご主人様が寝てる、このソファ…

前にも思ったけど、どうして…もっと奥の方に置かないんだろ
そのせいで、ヘンな隙間ができてるのに…

（◇鈴の音）

——わ、急になんですかつ

ご主人様の悪戯…じゃないですね。ぐっすり寝ていますし…

…ああ、お母さまの足に当たって、転がってきたんですね

これは…ちっちゃなボールかな。きっと、中に鈴が入ってるから、あの音が…

（◇鈴の音）

あつ、持ってかれちゃいました。もっと、聴いていたかったのに…

…あれ、どうして…そんなこと……うつ

あ…ああ、何…これ。頭が、割れるように…痛っ

ご主人様、眠ってないで、んっ、助け…て…っ

（◇遠くから鈴の音）

…あ、ああああ……っ

…っ、あああ…っ、そう…だっ

私、いつも…あのボールで、オモチャで…遊んで——

う、あ……あああ……そっか……そう、だったんだ…

……ご主人様…。私、思い出しちゃいました…

自分が、誰だったのか。ご主人様と、どういう関係だったのか…

全部、…ぜーんぶっ

…ああ、どう…しよう

私…もう、消えちゃうのかも…しれません

…ああ、ご主人、様…

…大好き、ですよ…

(■五日目)

(§)

(◇ベッドの上で身を起こす音)

あ、ご主人様。おはようございます

…その、起きたばかりで、まだ眠たいと思うんですけど…
少し、朝の散歩に行きませんか？

…実は、ご主人様に…伝えたいことができたんです
一緒に歩きながら、お話…聞いてくれませんか？

ふふ、ありがとうございます

では、行きましょう

(◇主人公の外を歩く音 フェードインしてループ)

……ご主人様、この道のこと…分かりますか？

…はい、確かに通ったことはあると思いますよ

ご主人様はこの町で、ずうっと暮らしてきたんですから

…私が言いたいのは、道順…ですかね

ここを真っ直ぐ歩いて、分かれ道のところを右に曲がると…小さな公園が見えてきます
その先には川が流れていて、でも…まずはこの公園に寄るんですよ

(◇足音 ここまで)

…ご主人様。私は何を言いたいのか、もう分かってきたんじゃないですか？

…ふふ。少しもったいぶっちゃいましたね

実は私、自分が誰なのか…なんで成仏できなかったのか、昨日…全部思い出したんです
えへへ…急で、びっくりしましたよね

……はい、勘違いなんかありませんよ

だって、ここ…。毎朝、ご主人様と一緒に、散歩しましたよね

途中でこの公園に寄って、キャッチボールで遊んで…

…懐かしいですね

ご主人様だけじゃなくて、家族の方もすっごく優しくしてくれて…
ほら、数日前に見せてくれた写真、ありましたよね

あの中に写ってる私、とっても幸せそうに笑ってました

……はい、そうです

私の本当の名前は…れいちゃんじゃなくて、『ポチ』って言うんです

ご主人様が名付けてくれた、大切な私の名前…

……信じられませんか？ 私が、ご主人様の飼い犬の、ポチだってこと

……まあ、それは…そうですね

自分の飼ってたペットが、幽霊として…

しかも、人間の姿で現れるなんて…

んー、どうしたら信じてもらえるかな…

ご主人様にしてもらったことを、一個ずつ挙げていくとか…

えっと…キャッチボールのことは言ったから…

遊んだ後のこと…汚れちゃった時は、お風呂に入って、洗ってもらったりしましたよね

まあ、正直お風呂は苦手だったんですけど…

その後は優しくブラシをしてくれて…ご褒美のボーロをくれたり

あとは、夜になったら、一緒のベッドでくっついて寝ましたよね…

…あれ、ご主人様、泣いちゃってますか？

…ダメですよ。まだ…話したいこと、たくさんあるんですから…

最期まで、聞いてくれますか？

では…まず、成仏できなかった理由について…

…それは。ご主人様と、お話したかったから…なんです

いっぱい話して、自分の言葉で「ありがとう」って伝えたかったんです

…だって、動物は…人間の話していることは分かっても、同じ言葉で喋れませんから…

ご主人様が、家族の方と話しているのを見て、私、すごくうらやましかったんです

でも、私は吠えることしかできなくて…結構、寂しかったんです？

…神様もいじわるですよね…？

どうせ人間の姿にしてくれるんだったら、なんかすごい力とかで、普通の人間にしてくれれば良かったのに…

でも、ご主人様と話せるようにしてくれただけで、神様には感謝です♪

まあ、所々分からない言葉もありましたけど…

……ご主人様。私が、こうやってここにいられるのは…きっと今日が最期なんです

その証拠に、ほら…。今までより、少し体が薄くなってきましたよね

…だってもう、心残りだったこと、ぜんぶ…叶えちゃってますから

だから、今のうちに伝えておきたいこと、いっぱい話します

覚悟してくださいね？

…えっと、まずは…

私、ご主人様と一緒にいられて、ご主人様の家族になれて、本当に嬉しかったです！

捨て犬だった私を連れ帰って、そのまま家族に迎え入れてくれて…

今回も同じでしたよね

幽霊になって、彷徨ってる私を家に連れ帰ってくれて…

前も、今も。ご主人様のお家に来てからは、本当にたくさんの思い出をいただきました

感謝しきれないくらい…たくさん

…ご主人様。私のこと、二回も迎え入れてくれて、ありがとうございました

ずっと、ずっと一緒にいてくれて、

いっぱい、いっぱい…ありがとうございましたっ

…えへへ…良かった…。ご主人様に、直接伝えられて…

ああ…、ご主人様、涙…出ちゃってますよ…

もう…しょうがないですね…

ご主人様が泣いちゃったら…

私まで…泣けてきちゃうじゃないですかあ…っ

うう…ぐすっ、ひぐっ…ううう、うあああ…

ご主人様あ…ぐすっ、せっかく泣かないって、決めてたのに…

ぐすっ…ぐすっ…

ご主人様には、私を泣かせた罰を与えますっ

私が消えちゃうまで、ずっと、ぎゅっしててください！

…触れなくても、関係ないんです

そんなこと、どうだっていいんです

だから、私のこと…。あの時みたいに、ぎゅって…

——あ、ああ……ご主人様あ…

…あったかい、です…

触れないのに…。確かに、ぬくい…です

生きていた頃は、毎日こうして、一緒に寝てたから…っ

ああ……私、本当に幸せでした…

最期も、ご主人様の…あったかい腕の中で…なんて…っ

うう…ぐすっ

ご主人様、私…もう、大丈夫です

ご主人様から、幸せをいっぱい分けてもらったので…

…だから、今度は、ご主人様の番ですよ？

これからも、いっぱい、いっぱい…幸せになってください
私、ずっと見てますからね？ 絶対ですよっ

…はい、ありがとうございます

…ご主人様

ずっと、ずっと、大好きですっ

(◇少し間を置き、鈴の音)

(■六 天国)

(§)

う…ここは…？

もしかして…天国？

そっか…私、成仏できたんだ…

…あれ？

でも、なんでまだ、人間の姿で…

—うわあっ、誰っ

…も、もしかして、神様…ですかっ

……じゃあ、やっぱりこっつて、天国…なんですね…

じゃあ、この姿も…言葉も、全部…神様が…

あの、私、あなたに言いたいことがあるんです

神様、ご主人様に会わせてくれて、お話できるように言葉を教えてくれて、本当にありがとうございます！

私、神様のおかげで、やり残したことを、いっぱいいっばいできました！

すっごく嬉しかったです！

…ただ、ちょっと恨んでることもあるんですよ？

だって私の記憶、綺麗さっぱり消しちゃうんですもん…

最初から憶えていたら、あんなに苦労しなくて済んだのに…

そういうこと、できないんですか？

幽霊になって、また大好きな人に会えるのは嬉しいんですけど…

記憶がないんじゃ、私以外にも、独りぼっちの幽霊とか、いっぱいいると思うんです

それに、成仏できなくて、怖がられてる幽霊も…

だから、できるなら、ちゃんと記憶もそのままにして、大好きな人のところへ行けるようにしてくださいっ

私、幽霊になってみて分かりました

幽霊って、怖いものばかりじゃないんだって

実は私みたいに、なんで幽霊になったのかわからない、すごく寂しい思いをしている子もいっぱいいるんじゃないかって…

だから…もう私ができることは何もないですけど、その代わりに神様がなんとかしてあげてくださいっ

約束、ですよ…っ

……ふう…。ちよっと、熱くなっちゃいましたね…

…はい。やり残したことは、もうないと思います

…いえ、本当にそうかと訊かれたら、嘘になっちゃうかもしれません
ご主人様の側にいたら、やりたいこと、いっぱい出てきますから

…でも、あの時やりたかったことは、全部済ませてきたつもりです

なので、やり残しはまだあるのかもしれませんが、心残りは…全くありませんっ

…ふふ、本当ですよ？

私だけじゃなくて、ご主人様も、もう大丈夫ですっ

…だって、私が見てるのに、いつまでも泣きじゃくってるような、そんなご主人様じゃない
んです

……はい、信じていますよ

私の大好きな人は、優しくてかっこ良くて…

笑顔の似合う、素敵なお人なんです

…だから、ご主人様

これから、あなたが幸せでいるところ、私にたくさん見せてくださいね？

この空の上から、ずっと、ずうっと見守っているの…

…約束、ですよ？ ふふ

(END)